

タイトル「国際理解教育を求めて」

第58号

平成31(2019)年3月10日

発行 十勝地区国際理解教育研究会 代表 山川 修

担当 広報部（士幌町立士幌小学校内）

..... (飾り罫線)

「より良い国際社会の平和と発展を願って」

十勝地区国際理解教育研究会

会 長 山 川 修

（本別町立本別中央小学校）



平成31年、2019年が始まり、さらに5月1日からは新しい元号が始まり、平成の時代は30年あまりで幕を閉じることとなります。会員の皆様がこの原稿を読む頃は新しい元号が分かっていることと思います。昭和64年、1989年1月は、何をしていたでしょうか？まだ生まれていないという方もいるでしょうが、私は、やはり今と同じ日本・北海道・十勝・本別に住んでいました。スケート指導に行く前にテレビで朝のニュースを見て、今年生まれて来る我が子は私と同じ昭和生まれではないのだと思いました。妻に話すと、「子供のことを考えてくれたの？」と、私の株が上がったのを覚えています。言葉には十分気をつけようと思いました（笑）この頃の方が寒さも厳しく、確実に温かくなってきている地球だと感じます。

「〇〇ファースト」「〇〇第一主義」「〇〇照射」「〇〇温暖化」「合意なき離脱」「共同経済活動」等々 現在あらゆる問題に対して大きく意見が分かれ、簡単に解決に向かう道筋が見えにくい時代になっています。一つの問題を一国のみで解決できる時代ではないのは間違いないと思います。では、どうやってよりよい社会を目指すのか。

やはり、相互理解、相互尊重。コミュニケーション力です。1月、稀勢の里関が引退を発表しましたが、横綱に求められる15戦全勝ではなく、8勝7敗でも相互に恩恵が得られるウインウインの関係、相互共栄、相互恩恵が大切ではと考えます。品格は身に付けなければなりません。

1月の男子サッカーアジアカップ（開催地はアラブ首長国連邦）と全豪オープン（テニス：錦織選手のベスト8と大坂選手の優勝）、6月開催予定の女子サッカーワールドカップ（同フランス）、9月の男子ラグビーワールドカップ（初のアジア開催地となる日本、札幌ドームでも2試合）スポーツだけではなく他にも1月の日露首脳会談（モスクワ）、8月のTICAD＝アフリカ開発会議（横浜）など、私が思いっただけでもこうした世界の人々と共に歩む時間があります。横浜には参加者が4500人以上とされています。個人対個人の関係からチーム対チーム、団体対団体、国対国へより大きなまとまりでの理解、尊重、共栄、恩恵が広がることを願うばかりです。

まだまだ世界には未知の部分が多くある私です。皆さんとともに目の前の子どもたちと共感、共汗しながらより良い国際社会の平和と発展を願って歩んでいきたいと思っています。

事務局

事務局長 越智 卓
(帯広市立川西小学校)

5月 1日(火) ○大豆の会 北栄小学校 (高原校長・川上校長・大西教諭)

19日(土) ◎総会 北栄小学校会議室 14:00～

会 長	山川 修	本別町立本別中央小学校	校長
副会長	森本 聡	音更町立緑陽台小学校	校長
//	川上 裕明	士幌町立西上音更小学校	校長
//	野中 利晃	帯広市立開西小学校	校長
//	伊藤 道彦	音更町立柳町小学校	校長
//	稲葉 瑞樹	鹿追町立上幌内小学校	校長
研修部長	牧 伊津子	音更町立下音更小学校	教頭
研究部長	小室 彰人	幕別町立幕別中学校	教頭
組織部長	古村 俊大	帯広市立帯広第二中学校	教頭
広報部長	河井 義徳	士幌町立士幌小学校	教頭
事務局長	越智 卓	帯広市立川西小学校	教頭
事務局次長	合田 真晃	帯広市立花園小学校	教頭
//	河江 邦教	帯広市立啓北小学校	教諭
会 計	磯谷 麻江	帯広市立帯広小学校	教諭
監 査	猪股 宏亮	幕別町立糠内小学校	校長
//	橋場 仁	帯広市立啓西小学校	校長

○第1回役員会 北栄小学校

6月 7日(木) ◇JICA帯広晋川代表へ挨拶(山川会長・越智事務局長)

◇帯広市教育委員会(嶋崎教育長)、森の里小学校へ挨拶(山川会長・越智事務局長)

6月11日(月) ◇局(竹林局長、西村次長)へ挨拶(山川会長・越智事務局長)

6月22日(火) ○第2回役員会議

7月 1日(日) ○「世界のともだち2018」展示ブース 10:00～森の交流館
古村組織部長、大西教諭(音更小)

7月27日 北海道国際理解研究協議会 夏の研修会(京極):会長出席

9月14日(火) ○第3回役員会議

9月20日(木) ○第39回十勝地区国際理解教育研究会帯広大会指導案検討会
(緑園中学校)

10月18日(木) ○第39回十勝地区国際理解教育研究会帯広大会事前打ち合わせ
(緑園中学校)

10月31日(水) ○第39回十勝地区国際理解教育研究会帯広大会

授業「多様な情報を読み取り、自分の考えを深めよう ～世界遺産
白神山地からの提言～ 意見文を書こう（国語）」

太田 桜〔帯広市立森の里小学校〕

授業「健康に生活することの大切さ ―喫煙が人体に与える影響―
（学級活動）」

山崎 慶太〔帯広市立緑園中学校〕

報告「JICA教師海外研修報告～マレーシアで学んだことを生
かした授業づくり～」

磯谷 麻江〔帯広市帯広小学校〕

交流「本別中高生のチャレンジ～オーストラリア・ミッチェルへ～」
佐々木 美保〔本別町教育委員会 英語教諭〕

11月 3日（土）○海外事情報告会（帰国報告会）・会員交流懇親会

11月15日（木）○第39回北海道国際理解教育研究大会～後志大会～
（山川会長、野中副会長、小室研究部長、越智事務局長、
提言者として野田 剛教諭参加）

1月 7日（月）○帰国教員報告会及び派遣教員研修会（JICA札幌）
（山川会長、伊藤副部長、小室研究部長、千頭研究副部長、
越智事務局長、大西教諭参加）

3月 3日（日）○第4回役員会議
○派遣教員激励会

3月 ○会誌「国際理解教育を求めて」第58号発行

□ 北海道国際理解教育研究協議会事務局次長 川上 裕明（西上音更小）

□ 十勝教育研修センター講座「国際理解」講師 多田 明寿（緑園中） 高嶋 幸太（鹿追中）



研究部

研究部長 小室 彰人
(幕別町立幕別中学校)

○ 活動経過報告

Ⅰ 活動経過報告

- 6月 全道国際理解研究大会後志大会
課題別分科会 第3分科会
提言 野田 剛 先生(鹿追小)に依頼
- 8月17日 指導案作成のための説明会(帯広森の里小学校、緑園中学校)
森の里小学校 授業者 太田 桜 先生
緑園中学校 授業者 山崎 慶太 先生
- 7月27日 北海道国際理解研究協議会 夏の研修会(京極):研究部欠席
- 9月20日 研究部会兼指導案検討会(緑園中学校)
内容①指導案検討 (小学校1本・中学校1本)
②本年度の研究テーマについて
- 10月31日 第39回十勝地区国際理解教育研究大会 帯広
- 11月15日 第39回北海道国際理解研究大会後志大会
16日 課題別分科会 第3分科会
提言 野田 剛 先生(鹿追小)
- 1月 7日 北海道国際理解教育研究協議会(札幌):研究部長、副部長出席
理事総会・研修会・帰国教員報告会・派遣教員研修会

○ 第39回十勝地区国際理解教育研究大会 帯広大会 を振り返って

本年度の十勝地区国際理解教育研究大会は帯広市立森の里小学校と帯広市立緑園中学校を会場に開催することができました。2本の授業を通して、国際理解教育のあり方や方向性を原点に立ち返り、討議することができた貴重な大会となりました。

一昨年度より、「多様な世界に関わり続ける行動力を身に付けた児童生徒の育成～世界とかかわる楽しさを行動化につなげる学びの創造～」と研究テーマを設定し、昨年度の実践をもとに、さらに深化した研究を目指しました。

小学校第5学年国語科の授業では太田先生が、「世界の自然遺産」をテーマに世界を感じ、世界とつながる授業を展開しました。4人のゲストティーチャーを招き、その国の自然保護の在り方を聞くことで、自分の考えを再構築し、その後の環境学習に繋げていく、教科横断的な考えを取り入れた授業の構成でした。外国の自然保護の方法の違いやなぜ違うのか、その国民性に視点をあてるなど、子どもたちにさまざまな刺激を与えることができたのではないのでしょうか。

中学校第3学年学活の授業では、山崎先生が「マレーシアのタバコのパッケージ」をキーワードとして、健康の保持増進、自己実現にかかわる授業を公開しました。表記の違いから、なぜそのような過激な表記をするのか、日本ではどうなのか、ここでも国民性や多民族国家といった視点から、世界とのかかわりを実感し、自己実現に向けた素地を養う授業が展開されました。また、保健体育科と協働で健康面での授業をつくりあげるなど、他教科とのつながりも提案することができた授業でした。

研修部

研修部長 牧 伊津子
(音更町立下音更小学校)

○ 活動経過報告

- 10月31日(水) 第39回十勝地区国際理解教育研究大会…会場設営
(帯広市立森の里小学校, 帯広市立緑園中学校)
- 11月 3日(土) 海外事情報告会・交流会(ホテル宮崎)

○ 反 省

【海外事情報告会】

日 時 11月 3日(土) 16:30~18:00 報告会 18:15~19:30 交流会
会 場 ホテル宮崎
報告者 大西 啓就 教諭(音更町立音更小学校・フィリピン:マニラ日本人学校)

* 報告者の話から参加者は,

- ① 海外の教育施設で勤務した貴重な経験を聞き, 大変参考になった。
- ② 様々な異文化体験は, とても興味深かった。
- ③ 北海道・十勝から派遣される教員の責任と自覚をあらためて感じた。
- ④ 様々な環境や状況に臆することなく, たくましく積極的に活動する姿勢の大切さなどをスライドやDVDを通して共有することができた。
- ⑤ 限られた時間ではあったが, 報告をじっくりと聞くことができ, よかった。
- ⑥ 交流会もあり, 和やかな雰囲気の中で, 様々な情報を交流することができ, よかった。

【第39回十勝地区国際理解教育研究大会】

日 時 10月31日(水) 8:00~ 会場設営
会 場 帯広市立森の里小学校, 帯広市立緑園中学校

- * 事務局・会場校との連絡を密に行い, 業務を遂行することができた。
- * 当日のみの準備ではあったが, 会場校及び会員各位の協力でスムーズに行うことができた。
- * 授業会場(小学校と中学校)は隣接しており, 関係者・参加者の移動も余裕があり, よかった。

☆ 部会の日程調整を図ったが, 設定することができなかった。当日は参加会員の協力で, スムーズに準備・進行できた。



組織部

組織部長 古村 俊大
(帯広市立帯広第二中学校)

○ 「世界のともだち2018 (NGOブース)」への参加協力

期日 平成30年7月1日(日) 10:30~15:00 (ブース開設は14:00迄)
主催 「世界の友だち2018」実行委員会・独立行政法人国際協力機構北海道国際センター帯広 十勝インターナショナル協会・外国人留学生まちづくりを考える会・帯広市

十勝国際理解教育研究会ブース

(1) 在外施設派遣教員の出品展示

大西先生(音更小学校 フィリピン: マニラ日本人学校)

(2) 体験コーナー

<『世界の食』 古村 大西>

@ 各国の代表的な食事を写真で掲載

@ 写真からその国を想像する...というクイズ形式でパネルに掲示

@ 写真をめくすることで国旗が現れる形式

◆ フィリピンから持参いただいた菓子類やおもちゃが人気

○ 「国際理解教育研究大会展示ブースの開設」

期日 平成30年10月31日(水)

国際理解研究大会(帯広市立森の里小学校・緑園中学校会場)

◆ 大西先生(音更小学校 フィリピン: マニラ日本人学校) 出品

○ 「小豆の会」

今年度は実施せず

広報部

広報部長 河井義徳
(士幌町立士幌小学校)

○ ホームページ更新と充実

研究大会のようす、在外教育施設派遣教員からの情報などを加え、不定期に更新している。

今年度海外からの報告が少ない傾向にあった。今後定期的に報告がもらえるよう、派遣教員に前もって連絡が必要。今年度より有料サーバに移行することができ、それに伴いホームページをリニューアルした。

○ 広報誌「国際理解教育を求めて」58号の発行

○ 『国際理解教育を求めて』第58号をお届けします。

○ これからも、「発信・表現・行動できる子どもの育成を目指す学びの創造」をめざし、力を合わせて研究と実践を進めましょう。